

一般社団法人 日本原子力学会 標準委員会
第 97 回 原子燃料サイクル専門部会 議事録

1. 日 時：2024年2月5日（月）13：30 ～ 16：40

2. 会議方式：Web 会議

3. 出席者：（敬称略）

（出席委員） 高橋部会長，加藤副部会長，藤原幹事，浅野，飯田，生田，石原，井出，片岡（14:20 から），菊池，久保，小澤，小松原，佐々木，白井，高橋（秀），高橋（浩），立川，中島，宮澤，柳原，山本（正）（22 名）

（代理出席） 鈴木究（関西電力／片岡委員代理，14:20 まで）（1 名）

（欠席委員） 齊藤，山本（武）（2 名）

（委員候補） 坂井章浩（日本原子力研究開発機構）（1 名）

（常時参加者） 大塚，酒井，佐藤，田村，古田（5 名）

（説明者）【リサイクル燃料貯蔵分科会】白井幹事，清水委員，松本委員

【ウラン・TRU 取扱施設クリアランスレベル検認分科会】高橋幹事，横山常時参加者

【LLW 処分安全評価分科会】竹内幹事，中居委員，杉山委員

【LLW 埋設施設検査方法分科会】山田幹事

【LLW 埋設後管理分科会】関口幹事

【LLW 廃棄体等製作・管理分科会】田村幹事（延べ 11 名）

（事務局）大沼，正岡，平野（3 名）

4. 配付資料：（議事録末尾に一覧を掲載）

5. 議事内容

事務局から開始時，委員 24 名中，21 名が出席しており，成立に必要な定足数（16 名以上）を満足している旨が報告された。その後，1 名が途中参加し，22 名の出席となった。

(1) 前回議事録（案）の確認（FTC97-1）

前回議事録（案）について，事前に配付されていた資料 FTC97-1 にて，承認された。

(2) 人事（FTC97-2）

【部会長互選】

事務局から，FTC97-参考 1 に記載のとおり高橋部会長，加藤副部会長が 3 月末に退任予定であることから，部会長の互選投票を実施する旨の説明があった。

投票の結果，佐々木委員が過半数を得て，部会長に選任された。なお，正式には次回の標準委員会での承認をもって就任となる。

選任された佐々木次期部会長から，副部会長として宮澤委員が指名された。また，次期部会長，副部会長の協議により，幹事として藤原委員が指名された。

次期部会長，副部会長，幹事の 3 名からご挨拶をいただいた。

引き続き、事務局から FTC96-2 に基づき、専門部会及び分科会の人事について以下の提案があり、委員の退任等が確認され、審議の結果、委員の選任・承認等が決議された。

【専門部会】

◆決議事項

(1)委員選任

坂井 章浩 日本原子力研究開発機構

(2)委員再任

斉藤 拓巳 東京大学 2024.05～2026.04

石原 義尚 三菱重工業 2024.06～2026.05

久保 稔 総合科学研究機構 2024.06～2026.05

中島 健 京都大学 2024.06～2026.05

【分科会】

○輸送容器分科会

◆承認決議事項

(1)委員選任

海老原 稚典 原燃輸送

松岡 祐作 関西電力

◇確認事項

(1)委員退任

北瀬 浩 関西電力 2023.07.18

松本 光郎 原燃輸送 2024.01.25

(2)幹事退任

松本 光郎 原燃輸送 2024.01.25

(3)幹事指名

海老原 稚典 原燃輸送

○リサイクル燃料貯蔵分科会

◇確認事項

(1)常時参加者登録解除

柿崎 寿弥 日本原子力発電 2024.01.04

(2)常時参加者登録承認

上良 直弘 日本原子力発電

○ウラン・TRU 取扱施設クリアランスレベル検認分科会

◆承認決議事項

(1)委員選任

名雲 靖 日立製作所

◇確認事項

(1)委員退任

田所 孝広 日立製作所 2023.12.31

(2)委員所属変更

高橋 聡 原子燃料工業→新金属協会 2023.12.01

(3)常時参加者登録解除

田辺 秀憲 日本原子力発電 2023.11.30

(4)常時参加者登録承認

神崎 亮 日本原子力発電

○臨界安全管理分科会

◆選任・承認決議事項

(1)委員選任

浅見 光史	海上技術安全研究所
伊藤 大一郎	原燃輸送
金子 純一	北海道大学
亀山 高範	東海大学
郡司 智	日本原子力研究開発機構
杉田 宰	東芝エネルギーシステムズ
須山 賢也	日本原子力研究開発機構
土屋 暁之	日立 GE ニュークリア・エナジー
中島 健	元京都大学
長野 浩明	原子燃料工業
原田 康弘	三菱重工業

なお、臨界安全管理分科会については、再開に当たって改めて全ての委員を選任する（改組することから、分科会にての選任ではなく、当専門部会にて選任し、承認した。

(3)【報告・審議】（FTC97-3-1～3）

“ウラン取扱施設におけるクリアランスの判断方法：202X”の改定について

（担当：ウラン・TRU取扱施設クリアランスレベル検認分科会 高橋幹事，横山常時参加者）

ウラン・TRU取扱施設クリアランスレベル検認分科会 高橋幹事，横山常時参加者から資料に基づき、題記標準改定原案について本報告があった。審議の結果、30日間の書面投票に移行することが決議された。なお、対象は本日の資料FTC97-3-3とする。また、本日コメントのあった新旧比較表の分かりにくいところについては、併行して分科会にて修正しておくこととする。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：11頁 論点の整理 (1)②で「不確かさ」等について現行の内容の踏襲となっているが、これはどういう意味か。

A：炉標準の評価単位の設定方法を引用していたが、規制委員会審査基準と不一致となった。そこで、“6.2”と“6.3”を修正し、引用先に無い「不確かさ」の考え方を導入した上で現行の炉標準を引用として残すこととしたという意味である。

Q：15頁 参考資料3 (2)規則の解釈が現在実施されているとは、どういう意味か。

A：本文9章の新旧比較表の“作成・改訂方針等”の記載を転記していた。修正の内容としては新旧比較表21ページに示すとおり、JIS Q 9001又はJEAC4111を「品質管理基準規則」に差し替えるというものである。本文に問題はないため、このままとし、“作成・改訂方針等”の表現を訂正する。

Q：分科会での主要論点，主なコメント，反対意見等はどんなものがあったか

A：本報告案3頁の“検討の経緯”に示すとおり，①DS500の改正状況，②クリアランスに係る不確かさの技術的観点，③標準改定提案の審議，であった。反対意見としては，炉標準が改正されないまま引用規格として残してよいのかという意見があった。先に紹介のとおり，必要な改定を実施した上で引用することとなった。

(4)【報告・審議】(FTC97-4-1~4)

“使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：20XX”改定案に関する決議投票の結果及び受け付けた意見への対応について

(担当：事務局，リサイクル燃料貯蔵分科会 白井幹事，清水委員，松本委員)

事務局からFTC97-4-1に基づき，題記に関する決議投票の結果，可決となり，賛成で4名の委員から意見があったことが報告された。引き続き，リサイクル燃料貯蔵分科会 白井幹事，清水委員，松本委員からFTC97-4-2~4に基づき，受け付けた意見への対応について報告があり，審議の結果，この内容で，次の標準委員会に本報告することが決議された。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

C：孫引き（もとの文献からの引用の再引用）を重ねると，徐々に意味が変わっていくことが懸念されるので正確な引用を心がけるべきである。

A：ご指摘の参考文献は，原子力・保安院のWG報告書であるが，特に貯蔵後の輸送の安全性を考慮し，元文献を踏まえて当該文献の判断が記載されている。本標準は，当該文献の考え方に合わせて記載しているため，参考文献は現行の記載のままをしたい。

C：原子力・保安院のWG報告書であるから参考文献にするのではなく，その元文献を踏まえ，分科会として原子力・保安院のWG報告書を参考文献とすることが妥当であると判断することが必要であるが，今回はどうか。

A：当該文献は複数の元文献を踏まえWGとして長期健全性の基本的な考えを示している。その点を確認の上，分科会で原子力・保安院のWG報告書を参考文献とすることが妥当であることを審議した。

(5)【報告】(FTC97-5-1~3)

“低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法－中深度処分編：2023”標準発行後の誤記発見について

(担当：LLW 処分安全評価分科会 竹内幹事，中居委員，杉山委員)

題記に関し，LLW処分安全評価分科会 竹内幹事，中居委員，杉山委員から報告があった。なお，現在標準全体について詳細を確認中であり，次回の専門部会でその結果も含めて報告する予定である。

主な質疑，コメント等は以下のとおり。

Q：現在分かっている範囲では，ガイドラインにおける活用上問題のない誤記と考えているか。

A：そう考えている。現在チェックを行っているため，他に誤記が発見された場合には改めて報告する。

(6)【報告】(FTC97-6-1~3)

制改定済標準に関する用語辞典への掲載項目（追加，変更，削除）の検討結果について

(担当：LLW 廃棄体等製作・管理分科会 田村幹事，LLW 埋設後管理分科会 関口幹事，

LLW 埋設施設検査方法分科会 山田幹事，LLW 処分安全評価分科会 竹内幹事)

各説明者から資料に基づき，用語辞典への掲載項目の検討結果について報告があった。事務局から，本日の資料に基づき，2/21に開催する標準活動基本戦略タスクに諮る予定との説明があった。

特に質疑，コメント等は無かった。

(7) 【報告】 (FTC97-7-1～3)

標準策定5か年計画の更新(2024年版作成)について

(担当: 藤原幹事)

藤原幹事から資料に基づき、5か年計画の更新(2024年版作成)の内容について説明があり、審議の結果、本日説明された修正を実施のうえ、次回の標準委員会へ報告することが決議された。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

C: “中深度処分対象廃棄物の放射能濃度決定方法の基本手順:2019”の「換算係数法の追加」は誤記であり、「換算係数法の記載充実等」に修正する。

C: ウラン・TRUクリアランス検認分科会は「原子燃料サイクル専門部会 標準策定5か年計画」に、今回報告した今後のスケジュール等を追記すること。

田村常時参加者から、技術評価を実施していた“中深度処分対象廃棄物の放射能濃度決定方法の基本手順:2019”に関する1月31日の規制委員会の審議概要について、技術評価書はまとめるがエンドース/パブコメは見送ることとなり、当該標準の再改定後に再度技術評価することになる、との報告があった。

主な質疑、コメント等は以下のとおり。

C: 今回、見送りとなった理由は、技術評価の目的が審査の効率化であるのに対し、学会標準は教科書的であり、そこに乖離があった。また、当該標準は近いうちに改定の計画がある由なので、その時点で一括してエンドースする方が適切である。技術評価書において、当該標準を仕様規定としてエンドースするとした場合に、現状で不足している事項を明示したので、これを踏まえて改定版を作成してほしい。

C: エンドースが見送りとなったのは残念だが、技術評価書が作成されていることは成果であった。

C: 標準の価値がまだ浸透していないと感じる。標準は社会の資産であり、それをうまく活用していくことがポイント。教科書的というカテゴライズは適切ではない。いろいろなケースに応じて応用できるように幅広く用意するものであり、国際標準も同様である。規制庁も常時参加者として参加しているので、共に書き込んでいってよい標準にしていくことが本来あるべき姿。

(8) 【報告】 (FTC97-8)

分科会活動状況について

(担当: 各分科会代表者等の関係者)

分科会の活動状況について、資料の確認をもって報告に代えることとした。

なお、分科会の報告記事を作成後に、1/31の規制委員会の会合があったことから、この内容はLLW放射能評価分科会の報告には未反映であることが補足説明された。

特に質疑、コメント等は無かった。

6. その他

(1) 各分科会の開催日程について、次のスケジュールに留意のうえ日程調整するよう、事務局から依頼があった。

- ・2024年4月25日（木）配付資料送付期限
- ・2024年5月 2日（木）配付資料のサーバーアップ

(2) 今後の予定

次回は、2024年5月9日（木）13：30からの開催に決定した。

(3) 3月末をもって退任される高橋部会長、加藤副部会長から、ご挨拶をいただいた。

【配付資料】

FTC97-0	第97回原子燃料サイクル専門部会議事次第
FTC97-1	第96回原子燃料サイクル専門部会議事録（案）
FTC97-2	人事について
FTC97-3-1	“ウラン取扱施設におけるクリアランスの判断方法：202X”（改定提案の本報告）
FTC97-3-2	“ウラン取扱施設におけるクリアランスの判断方法：202X”（改定案）新旧比較表
FTC97-3-3	“ウラン取扱施設におけるクリアランスの判断方法：202X”（改定案）完本版
FTC97-4-1	“使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：20XX”改定案に関する決議投票の結果
FTC97-4-2	原子燃料サイクル専門部会議投票時のご意見に対する対応
FTC97-4-3	“使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：20XX”改定案（部会ご意見を踏まえた新旧比較表）
FTC97-4-4	“使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：20XX”改定案（本報告）
FTC97-5-1	“低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法－中深度処分編：2023”発行後の誤記発見について（LLW 処分安全評価分科会）
FTC97-5-2	“低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法－中深度処分編：2023”（2023年11月14日発行）に係る誤記発見の経緯等について（LLW 処分安全評価分科会）
FTC97-5-3	“低レベル放射性廃棄物処分施設の安全評価の実施方法－中深度処分編：2023”（2023年11月14日発行）正誤表（LLW 処分安全評価分科会）
FTC97-6-1	用語辞典への掲載項目検討結果（原子燃料サイクル専門部会）
FTC97-6-2-1	用語辞典への反映検討結果_添付 1-1（LLW 廃棄体等製作・管理分科会）
FTC97-6-2-2	用語辞典への反映検討結果_添付 1-2（LLW 埋設後管理分科会）
FTC97-6-2-3	用語辞典への反映検討結果_添付 1-3（LLW 施設検査方法分科会）
FTC97-6-2-4	用語辞典への反映検討結果_添付 1-4（LLW 処分安全評価分科会）
FTC97-6-3	用語辞典掲載用語の修正案_添付 2（原子燃料サイクル専門部会）
FTC97-7-1	標準策定5か年計画（2024年版）
FTC97-7-2	新知見候補の提案書
FTC97-7-3	標準の制定／改定に係るアンケート（2023年度実施）への対応（案）
FTC97-8	分科会の活動状況について

参考資料

FTC97-参考 1	原子燃料サイクル専門部会委員名簿
FTC97-参考 2	原子燃料サイクル専門部会出席実績

以上